

取扱説明書

K970 III Chain

本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。



JA

マークの説明

取扱説明書のバージョンについて

本マニュアルは北米以外のすべての英語圏で使用される国際バージョンです。北米で作業する場合は、米国バージョンを使用してください。

本機に表記されるシンボルマーク

警告!本機は危険を伴う道具です。不注意な使用や不適切な使用によって、使用者やその他の人々が重傷や致命傷を負う危険性があります。



本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。



プロテクティブ装具を着用してください。「使用者のプロテクティブ装具」の項を参照してください。



この製品はEC規格適合製品です。



警告!切断の際には粉塵が発生し、人体に吸い込まれると危険です。適切な呼吸マスクをご使用ください。排気ガスを吸引しないようにしてください。常時、換気を十分に行ってください。



警告!キックバックは突然かつ急に、勢いよく発生し、命にかかわる傷害を発生させることがあります。本機を使用する前に、本書の説明をよく読み、理解してください。



警告!ダイヤモンドチェンから発生する火花が可燃物(ガソリン、木、衣服、枯草など)に引火する可能性があります。



チェーンにいかなるヒビや破損もないことを確認してください。



チェーンを樹木の伐採に使わないでください。



チェーン



エアバージ



デコンパバルブ



スターターハンドル



給油、ガソリン/オイル混合



始動方法説明ラベル 詳細は、「始動と停止」を参照してください。



環境に対する騒音レベルは EC 指令に準拠しています。本機の騒音レベルは、主要諸元の章とステッカーに記載されています。



銘板

行 1: ブランド、モデル (X、Y)

行 2: シリアル番号と製造日

(Y、W、X) 年、週、シーケンス番号

行 3: 製品番号 (X)

行 4: メーカー

行 5: メーカー住所

行 6~7: EC 型式認証 (X、Y) (該当する場合): 認証コード、認証段階



本機に付いている他のシンボル/銘板はそれぞれの市場地域に向けた特別な認定条件を示します。

警告レベルの説明

警告は 3 つのレベルで構成されます。

警告!



警告!避けることができない場合、死亡したり重傷を負う可能性のある危険な状況を示します。

注意!



注意!避けることができない場合、軽中度の負傷を負う可能性のある危険な状況を示します。

注記!

注記!は人身事故に関係がない取り扱いについて使用しています。

目次

目次

マークの説明

取扱説明書のバージョンについて.....	2
本機に表記されるシンボルマーク.....	2
警告レベルの説明.....	2

目次

目次.....	3
---------	---

概要

お客様へ.....	4
設計および機能.....	4
パワーカッターの各部名称 - K970 III Chain.....	5

本機の安全装置

全般.....	6
---------	---

ダイヤモンドチェン

全般.....	8
チェンの点検.....	8
ソーの点検.....	8
材質.....	8
目立て.....	8
搬送と保管.....	8

組立と調整

リムスプロケット、ガイドバー、ダイヤモンドチェンの 適合と変更.....	9
チェンの張りの調整.....	10
パイプクランプ(アクセサリ).....	10

燃料の取り扱い

全般.....	11
燃料.....	11
給油.....	12
搬送と保管.....	12

操作

プロテクティブ装具.....	13
一般的な安全注意事項.....	13
搬送と保管.....	18

始動と停止

始動前に.....	19
始動.....	19
停止.....	20

メンテナンス

全般.....	21
メンテナンススケジュール.....	21
清掃.....	22
機能検査.....	22
廃棄.....	25

トラブルシューティング

トラブルシューティング.....	26
------------------	----

主要諸元

主要諸元.....	27
推奨されるガイドバーとソーチェンの組み合わせ.....	27
EC 適合性宣言.....	28

お客様へ

ハスクバーナの商品をご購入いただき誠にありがとうございます。

本製品にご満足いただき、未永くご愛顧いただけることを願っております。弊社製品のご購入後は、弊社技術員による修理ならびに整備をご利用いただけます。お買い上げになった販売店が正規代理店でない場合は、その販売店に最寄りのサービス工場の所在地をお問い合わせください。

本取扱説明書は大切な書類です。常に作業場所ですぐに利用できるようにしてください。説明書の記載内容（操作方法、修理、メンテナンスなど）に従うことにより、本機の寿命を延ばし、転売時の価値を高く維持することができます。本機を転売する場合は、必ず取扱説明書を同梱してください。

300年以上も続けられているイノベーション

ハスクバーナの歴史は、スウェーデン王であるカール 11 世がマスケット銃の製造を目的とした工場の建設を命じた 1689 年に遡ります。その時代、ハスクバーナは、猟銃、自転車、オートバイ、家庭電気製品、マシン、アウトドア製品などの分野で世界をリードするプロダクトを開発。それらの開発を支える技術的スキルを背景に、企業の礎がすでに築かれていました。

ハスクバーナは、森林や公園のメンテナンス、芝生や庭の管理向けアウトドア用パワープロダクト、さらには、建設および石材産業向け切削装置やダイヤモンド工具などのグローバルリーダーです。

オーナーの責任

本機を安全に使用するための十分な知識を使用者に持たせることは、オーナーあるいは雇用者の責任です。監督者や使用者は、あらかじめ取扱説明書を読み、内容を理解する必要があります。使用者は以下を確認する必要があります。

- 本機の安全に関する説明事項。
- 本機の用途や使用限度の範囲について。
- 本機の使用方法和メンテナンス方法について。

本機の使用においては、国内法による規制が課せられる場合があります。本機を使用して作業を開始する前に、作業エリアに適用される法律についてご確認ください。

メーカーからお客様へ

この取扱説明書の発行後、ハスクバーナ社は製品の安全な操作のための追加情報を発表する場合があります。最も安全な操作方法の最新情報を確認することは、オーナーの義務です。

ハスクバーナ社は継続的に製品の開発を行っています。そのため、設計や外見などが予告なく変更されることがあります。

ご質問やご要望については、弊社のウェブサイト (www.husqvarnacp.com) からお問い合わせください。

設計および機能

ハスクバーナの本ダイヤモンドチェンソーカッターは、鉄筋コンクリートや石材などの硬い材料を切断することを目的とした手持ち式のソーカッターです。本取扱説明書に記載されていない目的には使用しないでください。この製品を安全に操作するため、作業者はこの取扱説明書を注意深く読む必要があります。詳細については、ハスクバーナの販売店にお問い合わせください。

お使いの製品には、以下の特長があります。

SmartCarb™

内蔵自動フィルター補正機能により、ハイパワーを維持し、燃料消費を削減。

Dura Starter™

内部にリターンズプリングとブーリーベアリングが密閉された防塵スターターユニットは、実質的にメンテナンス不要で、高い信頼性があります。

X-Torq®

X-Torq®エンジンは、広範囲のスピードに対して最適なトルクを提供し、最大限の切断能力を実現します。X-Torq®は、燃料消費を最大 20 %、排出ガスを最大 60 %削減します。

EasyStart

エンジンとスターターは、迅速かつ簡単に製品を始動させられるように設計されています。スターターロープの引っ張り抵抗が 40%減少しています。(始動時の圧縮を減少)

エアパーシ

エアパーシダイヤフラムを押すと、燃料がキャブレターへ送られます。スターターを数回引くことで、エンジンを簡単に始動できます。

効率的な防振装置

効率的な防振装置により、腕や手に伝わる振動が軽減されます。

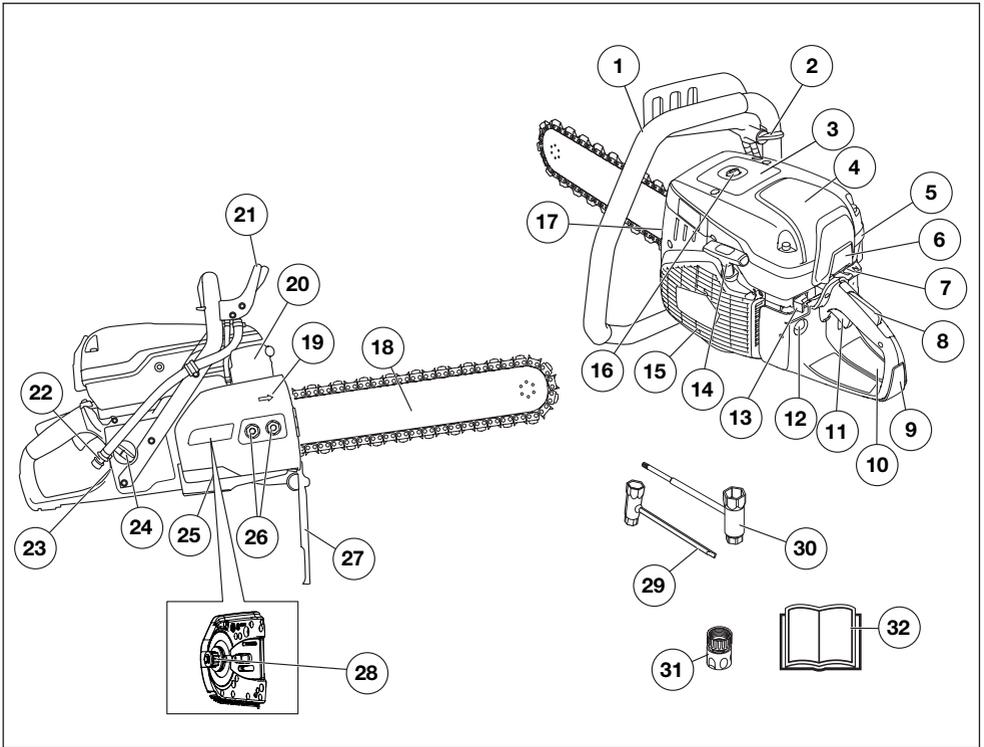
大きな切削深さ

切削深さ 450 mm (18 インチ) を実現。一方向から効率的に切削可能。11x11 cm (4x4 インチ) の小さな開口部も切削でき、不規則な形状の切削に最適。

水冷／粉塵管理

このカッティング装置には水冷／粉塵管理システムが装備されているため、水冷式切削が可能で粉塵を抑えることができます。

概要



パワーカッターの各部名称 - K970 III Chain

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1 フロントハンドル | 17 チェンテンション |
| 2 給水栓 | 18 ガイドバーとダイヤモンドチェン (別売) |
| 3 警告ラベル | 19 チェンの回転方向 |
| 4 エアフィルターカバー | 20 マフラー |
| 5 シリンダーカバー | 21 ハンドガード |
| 6 エンジン吸気口 | 22 フィルター付き給水接続部 |
| 7 スタートスロットルロック付きチョークコントロール | 23 銘板 |
| 8 スロットルトリガーロック | 24 燃料キャップ |
| 9 リヤハンドル | 25 クラッチカバー |
| 10 始動方法説明ラベル | 26 パーナット |
| 11 スロットルトリガー | 27 スプレーガード |
| 12 エアバージ | 28 スプラインガイド |
| 13 停止スイッチ | 29 コンビレンチ、フラット |
| 14 スターターハンドル | 30 コンビレンチ |
| 15 スターターハウジング | 31 水コネクター、GARDENA® |
| 16 デコンプバルブ | 32 取扱説明書 |

本機の安全装置

全般



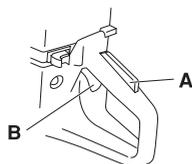
警告!安全装置に欠陥のある製品は決して使用しないでください。お持ちの機械が点検項目を一点でも満たさない場合は、お近くのサービスショップに修理を依頼してください。

停止スイッチをSTOP位置にして、エンジンを切ってください。

この項では、本機の安全装置とその目的、本機の正しい動作を確保するための検査とメンテナンスの方法について説明します。

スロットルトリガーロック

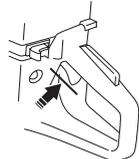
スロットルトリガーロックはスロットルの操作ミスを防ぐためのものです。ロック(A)を押すと、スロットル(B)が解除されます。



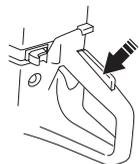
スロットルを押している間は、トリガーロックは押し込まれた状態になります。ハンドルのグリップを放すと、スロットルトリガーとスロットルトリガーロックの両方が元の位置に戻ります。この動作は、2つの独立したリターンスプリングシステムが制御しています。この構造により、スロットルトリガーはアイドリング位置で自動的にロックされます。

スロットルロックの検査

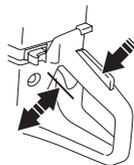
- スロットルトリガーロックを放したとき、スロットルトリガーがアイドリングの位置にロックされていることを確認します。



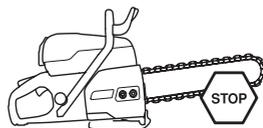
- スロットルロックを押し、指を放すと元の位置に戻ることを確認します。



- スロットルトリガーとスロットルロックがスムーズに動き、リターンスプリングが正しく機能していることを点検します。

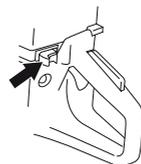


- ダイヤモンドチェーンソーを始動し、フルスロットルにします。スロットルトリガーを放し、チェーンが停止し静止状態になることを確認します。スロットルトリガーが「アイドリング位置」にあるにもかかわらずチェーンが回転する場合は、キャブレターの「アイドリング調整」を確認してください。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。



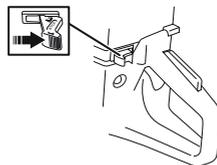
停止スイッチ

停止スイッチはエンジンを切るときに使用します。



停止スイッチの検査

- エンジンを始動し、停止スイッチを停止設定にしたときにエンジンが停止することを確認します。



本機の安全装置

ハンドガード



警告!本機を始動する前に、ガードが正しく装着されていることを必ず確認してください。

ハンドガードは、例えば、作業者がフロントハンドルを握り損ねたときなどに、動いているカッティングチェーンに手が接触するのを防ぐ役目を持っています。

- ハンドガードが損傷を受けてないことを確認してください。損傷がある場合、ハンドガードを交換してください。

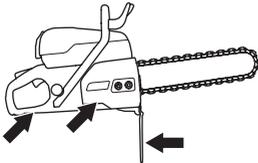


クラッチカバー、スプレーガードおよびリヤ右手ガード

クラッチカバーとスプレーガードは、可動部品、放出された碎片、排出された水、セメントスラリーとの接触を防ぎます。スプレーガードとリヤ右手ガードも、ダイヤモンドチェーンがはじけたり、跳ねたりした場合にチェーンを受け止めるよう設計されています。

クラッチカバーとスプレーガードの点検

- スラリーが原因でクラッチカバーやスプレーガードにヒビが入ったり、穴が開いたりしていないか確認します。損傷があれば、カバーまたはガードを交換します。



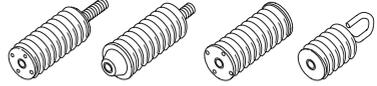
防振装置



警告!循環器系の弱い人が長時間振動を受け続けると、循環器障害や神経障害を起こすことがあります。長時間振動を受け続けたために症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。症状にはしびれ、感覚麻痺、ピリピリ感、刺痛、痛み、脱力感、皮膚の色や状態の変化などがあります。これらの症状は通常、指や手、手首に現れます。この症状は低温の環境下でよく起こります。

- 本機には防振装置がついており、振動を軽減し、操作しやすくなっています。
- 本機の防振装置は、エンジンユニットや切断装置からハンドルへの振動の伝導を軽減します。防振装置によ

り、切断装置を含むエンジン本体からハンドルが保護されています。



防振装置の検査



警告!停止スイッチを STOP 位置にして、エンジンを切ってください。

- 防振装置にヒビや変形がないか、定期的に点検します。損傷がある場合、交換してください。
- 防振装置がエンジンユニットとハンドルユニットの間にしっかりと固定されていることを確認します。

マフラー



警告!マフラー無し製の製品や欠陥のあるマフラーを装着した製品は決して使用しないでください。マフラーに損傷があると騒音レベルや火災の危険性が高くなります。消火装置をお近くに用意しておいてください。

マフラーは使用中や使用直後、アイドリング時に非常に熱くなります。特に可燃物や可燃性ガスの近くで作業をするときは、火災の危険性に注意してください。

消火装置をお近くに用意しておいてください。

マフラーは騒音のレベルを最小限に抑え、排気ガスを使用者から遠ざけるように設計されています。



マフラーの点検

- マフラーが完全に正常で、正しく固定されていることを定期的に確認します。

ダイヤモンドチェン

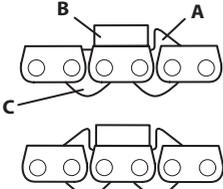
全般



警告!チェンが破損して、作業者に向かって飛んだ場合、重傷を負う危険性があります。

カutting装置に欠陥があったり、ガイドバーとダイヤモンドチェンの組み合わせが誤っていたりすると、キックバックの危険性が高まります!**ハスクバーナ推奨のガイドバーとダイヤモンドチェンの組み合わせのみを使用してください。**

ダイヤモンドチェンには2つの基本型があります。



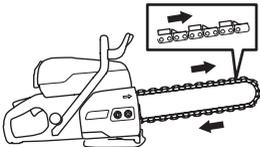
A) デブス付きのドライブリンク

B) ダイヤモンドセグメント付きのカッターリンク

C) デブスなしのドライブリンク

デブスが2個付いたチェンを使用すると、どちらの方向でも取り付けることができます。

デブスが1個のみの場合、必ずチェンを正しい方向に取り付けてください。デブスは、切削箇所でセグメントを正しい高さにガイドします。



チェンの点検

- チェンにリンクの遊び、デブスやドライブリンクの破損、セグメントの破損などの損傷の兆候がないか確認します。
- チェンにひどい詰まりなどの異常な過負荷がある場合には、チェンをバーから取り外して、入念に点検してください。

ソーの点検

ソーには、チェンが破損した際に作業者を保護する安全機能が多数装備されています。作業を開始する前に、安全機能を必ず確認してください。以下の部品に損傷や紛失がある場合には、絶対にソーを使用しないでください。

- ドライブギアのカバー
- ハンドガードの損傷や紛失
- チェンの損傷
- スプレーガードの損傷や紛失
- リヤ右手ガードの損傷

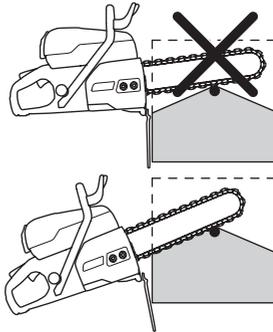
材質



警告!いかなる状況でも、ダイヤモンドチェンソーを指定された以外の材料を切断する用途に転用しないでください。木材伐採用のソーチェンは絶対に装着しないでください。

本機は、コンクリート、れんが、さまざまな石材の切断を目的として設計されています。他の用途に使ってはいけません。

純金属の切断にソーを決して使用しないでください。この目的に使用した場合、セグメントやチェンが破損するおそれがあります。ダイヤモンドセグメントは鉄筋コンクリートも切断できます。鉄筋の切断時には、できるだけ大量のコンクリートとともに切断するようにすると、チェンを保護できます。



目立て

硬度の高いコンクリートや石材を切断すると、ダイヤモンドセグメントの切断能力が落ちることがあります。低い分圧での切断を余儀なくされる場合にも切断能力が落ちることがあります(ダイヤモンドチェンをバー全長にわたり切削材料に当てて切断する場合)。こうした問題は、砂岩やレンガなどの研磨剤を短時間切断すると解決できます。

搬送と保管

- 作業が完了した後、ダイヤモンドチェンソーを最低15秒間水圧下で作動し、バー、チェン、駆動機構の粒子を洗浄します。本機を水ですすぎます。本機をしばらく使わない場合には、防蝕のためチェンとバーにオイルを塗布することを推奨します。
- カutting装置に搬送や保管による損傷がないか、必ず点検してください。

組立と調整

リムスプロケット、ガイドバー、ダイヤモンドチェーンの適合と変更

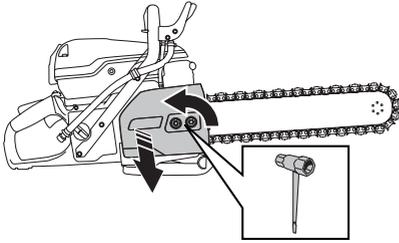


警告!ソーチェンを取り扱う際は必ず手袋を着用してください。

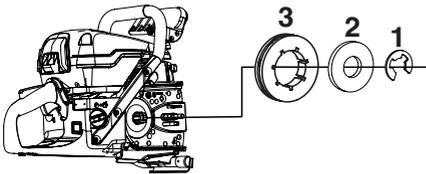
注記!新品のソーチェンに取り替えたときは、ソーチェンがなじむまで張り具合を頻繁に調整する必要があります。定期的にソーチェンの張りを確認してください。正しく張ったソーチェンを使用すると切れも良く、寿命も長く持ちます。

スプラインガイドとリムスプロケットの詳細については、「主要諸元」の「異なるカッティング装置のスプラインガイドの組み合わせ」を参照してください。

- バーナットを緩めて、カバーを取り外します。



- 止め輪を外します。(1)
- ワッシャーを外します。(2)
- リムスプロケットを交換します。(3)

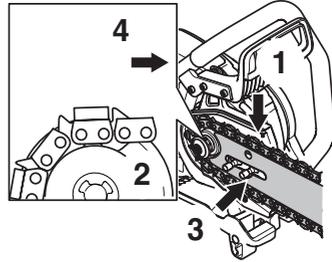


- 逆の手順で組み立てます。

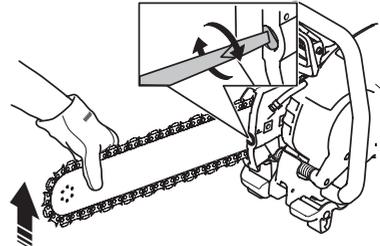
ガイドバーとダイヤモンドチェーン

- 1 ダイヤモンドチェーンをガイドバー上に置きます。ガイドバーの上側から装着作業を始めてください。
- 2 リムスプロケットにチェーンを取り付けます。
- 3 バーボルトにガイドバーとダイヤモンドチェーンを取り付け、ガイドバーの穴をチェーンテンション調整ピンに合わせます。チェーンのドライプリングがリムスプロケットの上に正しく乗っているか、チェーンがガイドバーのレール溝にきちんと入っているかを確認します。
- 4 ドライプリングのバンパーがガイドバーの上側で前向きになっていることを確認します。バンパーが2個付い

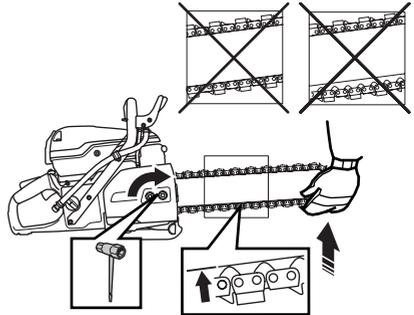
たチェーンを使用すると、どちらの方向でも取り付けることができます。



- カバーを取り付けると、バーナットを手で楽に締め込むことができます。コンビツールを使ってチェーンの張り調整ネジを時計回りに回し、チェーンを締めます。



- ダイヤモンドチェーンの適切な張りについては、図を確認してください。ガイドバーの先端を持ち上げ、コンビツールでバーナットを締め込みます。手でチェーンを手で楽に回せるか確認します。



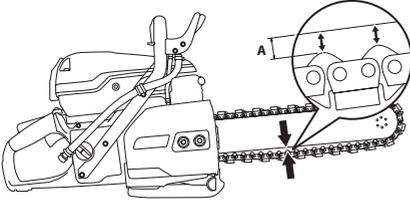
組立と調整

チェーンの張りの調整

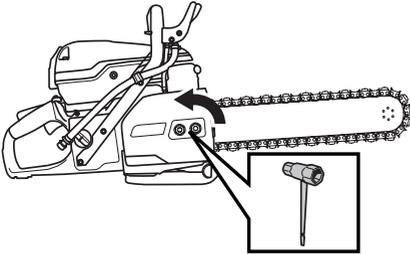


警告!ダイヤモンドチェーンにたるみがあると外れやすくなり、重傷や時には致命傷の原因となるおそれがあります。

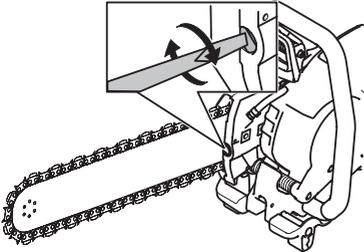
- ドライブリンクとバー間の遊びが 12 mm (1/2 インチ) (A) を超える場合には、チェーンが緩んでいるため、張力を調整する必要があります。



- カバーを抑えているバーナットを緩めます。コンビツールを使用してください。バーナットを手でできるだけきつく締めます。

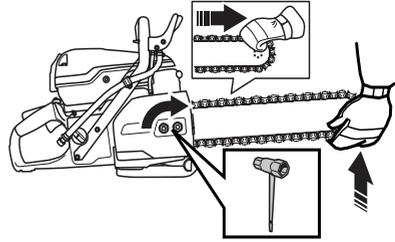


- コンビツールを使ってチェーンの張り調整ネジを締め、チェーンを張ります。ダイヤモンドチェーンがガイドバーの下側でたわまないように締めます。



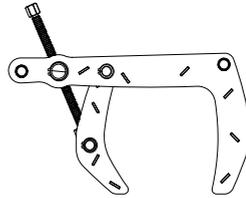
- ガイドバーの先端を持ち上げながら、コンビツールを使ってバーナットを締めます。ダイヤモンドチェーンを手

で自由に回せること、ガイドバーの下側にたるみがないことを確認してください。



パイプクランプ (アクセサリ)

ハスクバーナ K 970 Ring および Chain および K 6500 Ring および Chain で使用します。コンクリートパイプをまっすぐ正確に切断する場合に便利なアクセサリです。



燃料の取り扱い

全般



警告!狭い場所や換気の悪い場所でエンジンをかけると窒息死や一酸化炭素中毒の原因となることがあります。1メートル以上の深い溝や堀などで作業する場合、ファンを使用して適切な換気を確保してください。

燃料や燃料ガスは、非常に可燃性が高く、人間が吸いこんだり、皮膚に付着したりすると深刻な傷害を引き起こすおそれがあります。このため、燃料の取り扱いには細心の注意を払い、十分な換気を確保するようにしてください。

エンジンの排気ガスは高温で火花を含むこともあり、火災発生の原因となります。屋内や可燃物のそばでは、決して本機を始動しないでください!

燃料付近では、喫煙したり、熱い物体を置いたりしないでください。

燃料

注記!本機は2サイクルエンジンを搭載しているため、運転にはガソリンと2サイクルオイルの混合燃料が必要です。正しい割合で混合するには、オイルの量を正確に計量することが重要です。少量の燃料を混合する場合は、わずかな誤差でも配合に多大な影響を及ぼすことがあります。

ガソリン

- 良質の無鉛または有鉛ガソリンを使用してください。
- 推奨される最低オクタン価は90 (RON)です。オクタン価が90未満のガソリンを使用すると、ノッキングの原因となります。ノッキングが起きるとエンジンの温度が上がって、エンジンの深刻な損傷につながる可能性があります。
- 高回転を継続させて作業する場合、オクタン価の高いガソリンを推奨します。

環境に優しい燃料

ハスクバーナは、Aspen (アスペン)2サイクル燃料または4サイクルエンジン用のエコガソリンに2サイクルオイルを下表の通り混合したもののいずれかの、アルキレート燃料の使用を推奨します。燃料のタイプを変更した場合、キャブレターの調整が必要です。ご注意ください。「キャブレター」参照。

エタノールを混合した燃料、E10 が使用できます (エタノールの混合率最大 10%)。E10 を超えるエタノール混合燃料の使用は、動作条件を劣化させて エンジンの損傷を引き起こします。

2 サイクルエンジンオイル

- 最良の効果と性能を得るには、ハスクバーナ2サイクルエンジンオイルをご使用ください。このオイルは本機に使用される空冷式2サイクルエンジン用として特別に調合されています。
- アウトボードオイル (TCW) とも呼ばれる水冷エンジン用の2サイクルオイルは絶対に使用しないでください。
- 4サイクルエンジンオイルも絶対に使用しないでください。

混合

- ガソリンとオイルを混合するときは、必ず清潔な燃料用容器をご使用ください。
- 必ず使用予定の半量のガソリンを、最初に容器に入れます。次にオイルの全量を入れます。燃料の混合物をよく混ぜ (振り) ます。最後に残りのガソリンを加えます。
- 燃料タンクに給油する前に、混合燃料をよく混ぜ (振り) ます。
- 1ヵ月分以上の混合燃料を一度に作らないでください。

混合比

- ハスクバーナ2サイクルオイルまたは同等のものを使用の場合、1:50 (2%) にしてください。
- 空冷2サイクルエンジン用に調合されたオイルクラス JASO FB または ISO EGB、またはオイル製造者の推奨に従って混合したものを使用する場合、1:33 (3%) にしてください。

ガソリン、リットル	2サイクルエンジンオイル、リットル
	2% (1:50)
5	0.10
10	0.20
15	0.30
20	0.40

燃料の取り扱い

給油



警告!火災を避けるため、以下の注意を守ってください。

燃料付近では、喫煙したり、熱い物体を置いたりしないでください。

給油をする前には、必ずエンジンを止めて数分間温度が下がるのを待ってください。停止スイッチをSTOP位置にして、エンジンを切ってください。

給油の際には、超過圧力が徐々に放出されるよう、燃料キャップをゆっくり開けてください。

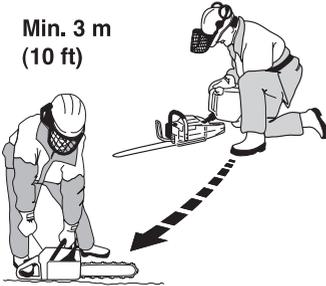
燃料キャップの周囲をきれいにしてください。

給油後は燃料キャップをしっかりと閉めてください。

キャップがしっかりしまっていない場合、キャップが振動で緩くなり、燃料が燃料タンクからもれて火災が発生するおそれがあります。

給油後は、給油した場所から少なくとも3 m離れたところで始動してください。

Min. 3 m
(10 ft)



下記の条件では、決して本機を始動しないでください。

- 本機に燃料やエンジンオイルをこぼしたとき、きれいに拭き取り、表面に残った燃料が蒸発するのを待ちます。
- 皮膚や衣服に燃料がかかったときは着替えます。皮膚についた燃料を洗い流してください。石鹸と水を使用します。
- 燃料が漏れている場合、燃料キャップと燃料ホースの漏れを定期的に点検してください。
- 燃料充填後に燃料キャップをしっかりと締めていない場合。

搬送と保管

- 本機と燃料は、電気機器、電気モーター、リレー／スイッチ、ボイラーなど、火花や裸火を発生するものから離して保管・運搬し、液体漏れやガスによる火災発生の危険性をなくしてください。
- 燃料の保管や搬送を行う場合は、必ず認可された専用容器を使用してください。

長期保管

- 本機を長期間保管するときは、必ず燃料タンクを空にしてください。余剰燃料の廃棄場所は最寄りのガソリンスタンドにご相談ください。

プロテクティブ装具

全般

- 事故のときに助けを求めることができない状況で、本機を使用してはいけません。

使用者のプロテクティブ装具

本機を使用するときは、認可されたプロテクティブ装具を必ず着用してください。身体保護具で負傷の危険性をなくすることができるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合でも、負傷の程度を軽減できます。プロテクティブ装具の選択については、本機の販売店にご相談ください。



警告!材料の切断、粉碎、穴あけ、サンディング、形成を行う機械を使用すると、人体にとって危険な化学物質を含んだ粉塵や蒸気が生成されることがあります。加工する材料の性質を確認して、適切な呼吸マスクを使用してください。

長時間騒音にさらされることは、恒久的な聴覚障害の原因になることがあります。本機を使用する際は、品質を保証されたイヤマフを必ず着用してください。イヤマフを着用している間、警告信号や叫び声に気を付けてください。エンジンが停止したら、速やかにイヤマフを外してください。

常に下記のものを着用してください。

- 認可された防護ヘルメット
- イヤマフ
- 認可された防護メガネ。防護マスクを使用する場合、認可された保護ゴーグルも着用する必要があります。認可された保護ゴーグルは、米国の ANSI Z87.1 あるいは EU 諸国の EN 166 規格に適合しなければなりません。バイザーは、EN 1731 規格に適合しなければなりません。
- 認可された呼吸器保護具
- 高耐久性で、物をしっかりとつかむことができる保護グローブ
- 体の動きを制限することのない、体にフィットした、丈夫で快適な服装。切断の際には火花が発生し、衣服に着火することがあります。防火綿または厚地のデニムを着ることを推奨します。ナイロン、ポリエステル、レーヨンなどの材質の衣服は着用しないでください。このような材質が発火した場合、溶けて肌にはりつく場合があります。短パンは着用しないでください。
- つま先部スチール製、ノンスリップ靴底の防護靴

その他のプロテクティブ装具



注意!本機での作業中、火花や火が発生することがあります。常に、消火装置をお手元に準備してください。

- 消火器
- 常に救急箱を身近に備えてください。

一般的な安全注意事項

このセクションでは、本機の使用に際しての基本的な安全注意事項について説明します。記載された情報は、専門家の技術や経験に相当するものではありません。

- 本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。作業者が初めて使用する場合、使用前に実践的な指示も受けることを推奨します。
- 周囲の人やその所有物をさまざまな事故や危険にさらさないようにする責任は、使用者自身にあることを忘れないでください。
- 本機は常にきれいにしておいてください。目印やステッカーは、法規に完全準拠しなければなりません。

いつも常識のある取り扱いを

起こり得る状況をすべて予測し、対応することは不可能です。常に注意を払い、常識に合った使用方法で操作してください。安全性に懸念が生じたら、作業を停止し、専門家のアドバイスを求めてください。本機をお買い上げになった販売店、サービス代理店や熟練ユーザーなどに相談してください。確信をもてない作業は行わないでください!



警告!本機の使用には危険が伴います。不注意な使用や不適切な使用によって、使用者や他の人々が重傷や致命傷を負う危険性があります。

子供や本機の扱いに不慣れた人間に本機を使用させないようにしてください。

本取扱説明書の内容を読んで、理解していない人には決して本機の使用を許可しないでください。

疲労時や飲酒後、視野・判断力・動作に影響を及ぼすような医薬品を服用したときは絶対に本機を使用してはいけません。

操作



警告!認定されていない改造や付属品の使用は、使用者や周囲の人が重傷を負う、または死亡するおそれがあります。いかなる理由であれ、製造者の承認を得ることなく本機的设计に変更を加えないでください。

本製品を改造したり、改造の疑いがある製品を使用したりしないでください。

本機に欠陥がある場合は絶対に使用しないでください。この取扱説明書の内容に従って、安全点検、メンテナンス、サービスを行ってください。メンテナンスやサービスの内容によっては、専門家でなければできないものもあります。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。

常に純正の部品をお使いください。



警告!本機では、運転中に電磁場が発生します。この電磁場は、ある条件下でアクティブ、またはパッシブな医療用インプラントに影響を及ぼすことがあります。深刻なまたは致命傷の危険を避けるため、医療用インプラントを使用している人が本機を操作する前に、主治医およびペースメーカーの製造元に相談することをお勧めします。

作業エリアの安全



警告!パワーカッターの安全距離は 15 メートル (50 フィート) です。使用者は、動物や傍観者が、作業エリアにいないことを確認する責任を負っています。切断は、作業エリアに問題がなく、足場がしっかりしている場合にのみ、開始してください。

- 周囲の状況をチェックして、本機の使用に影響があるものを除去してください。
- 人や物がカッティング装置に接触したり、ダイヤモンドチェーンから飛び散る断片が人や物に当たったりしないようにしてください。
- 濃霧、豪雨、強風、厳寒など、気象条件の悪いときは、本機を使用しないでください。悪天候下での作業は、疲れやすく、また、足元が滑りやすくなるなど危険です。
- 作業エリアに余分なものがないことや、足場が安定していることを確認してから、本機の使用を開始してください。物が予期せず移動してぶつかることがないように、注意を払ってください。切断時は、物が崩れたり、落下したりして、作業者がけがをしないように気をつけます。傾斜した場所で作業を行うときは特に注意します。
- 作業エリアの視界が十分に明るく、安全な作業環境であることを確認してください。

- 配管や電気ケーブルが、作業エリアや切断する材料を通っていないことを確認してください。
- 容器 (ドラム、パイプ、その他容器) 内を切断する場合、最初に必ず可燃性の物質か、その他揮発性の物質がないことを確認してください。

水冷／粉塵管理

冷却水を必ず使用してください。水を使わずに切削すると、すぐにオーバーヒートを起こし、ガイドバーとチェーンが破損して人的傷害につながるおそれがあります。

流水でガイドバーとチェーンを冷却するとともに、バーとドライプリンクから粒子を洗い流します。そのためには、高い水圧を掛けることが重要です。推奨される水圧と流量については、「主要諸元」を参照してください。

製品を水の供給源に水ホースでつないでも、供給源から外れてしまうようなときは、水圧が高過ぎることを示しています。

水冷式切削は粉塵もしっかりと抑えてくれます。

基本的な作業方法



警告!ソーを横向きに立てかけないでください。チェーンの詰まりや破損が起こり、人的傷害が発生するおそれがあります。

いかなる場合でもガイドバーとチェーンの側面で切削はしないでください。損傷や破損を起こすだけでなく、それが重大な損害につながりかねません。刃先の部分のみを使用してください。

他のブレードによる既存の切れ目に入れる前に、ブレードが切れ目より幅が狭いことを確認してください。切れ目に食い込み、キックバックするおそれがあります。

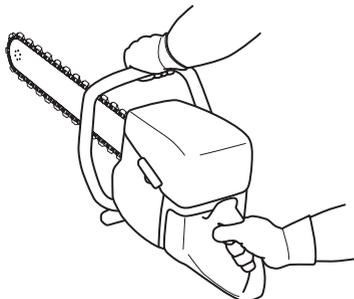
プラスチック材の切断にはダイヤモンドチェーンを絶対に使用しないでください。切断中に熱が発生してプラスチックが溶けてチェーンに付着し、キックバックを起こすおそれがあります。

金属の切断は、火災の原因となる火花を発生させます。引火しやすい物質やガスの近くで本機を使用しないでください。

- 本機は、コンクリート、れんが、さまざまな石材の切断を目的として設計されています。他の用途には使用しないでください。
- チェーンにリンクの遊び、デプスやドライプリンクの破損、セグメントの破損などの損傷の兆候がないか確認します。
- チェーンが正しく取り付けられており、損傷がないことを確認します。詳細は、「ダイヤモンドチェーン」および「メンテナンス」の項を参照してください。

操作

- アスベスト材は切断しないでください!
- 本機を両手で持ち、親指と他の指で取り囲むようにしっかりハンドルを握ります。右手でリヤハンドル、左手でフロントハンドルを握ってください。右利き、左利きに問わず、必ずこの握り方をしてください。本機を片手だけで操作することは厳禁です。



- カuttingチェーンに対して並行に立ちます。本機の真後ろに立たないようにしてください。キックバックが発生した場合、パワーカッターはチェーンおよびバーの水平面方向に動きます。



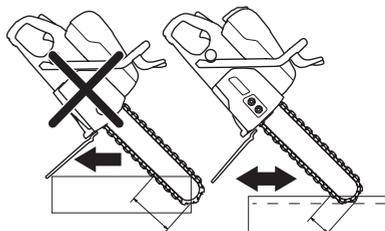
- エンジンの動作中は、Cuttingチェーンから安全な距離を保ちます。
- モーターが作動している状態、および管理者のいない状態で本機を放置しないでください。
- Cutting装置を回転させたまま、本機を移動しないでください。
- ガイドバーのキックバックゾーンを切削に使用しないでください。詳細は、「キックバック」を参照してください。
- バランスを保ち、しっかりした足場を確保してください。
- 肩より高い位置で切断を行わないでください。
- ハシゴに乗って切断しないでください。肩より高い位置を切断する場合は、台や足場を利用してください。無理な体勢で作業しないでください。



- 切断対象物からほどよい距離に立ちます。
- 本機を始動するとき、Cutting装置に何も触れていないことを確認します。
- チェンの回転を徐々に上げていき、高速回転(フルスロットル)にします。切断が終了するまでフル回転を維持します。
- チェンを動作させるときは、ブレードに力を掛けたり、押しつけたりしないでください。
- バーとCuttingチェーンに合わせて本機を送ります。横からの圧力が加わると、バーとCuttingチェーンが損傷することがあり、非常に危険です。



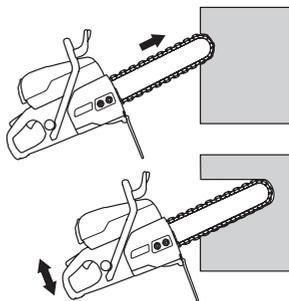
- Cuttingチェーンをゆっくりと前後に動かし、Cuttingチェーンと切断対象物との間の接触面が小さくなるようにします。これにより、Cuttingブレードの温度を低く保って、効率的に切断を行うことができます。



厚みのある対象物の切断プロセスを開始する場合、原則として以下の2つの方法があります。

ブランチ切削法

- まず、バー先端の下方で壁面に深さ10センチの切込みを入れます。バー先端を溝に挿入すると同時に、ソーをまっすぐに立てます。壁面にソーを押し付けて上下させると、必要な深さまで効果的に切り込むことができます。



操作

パイロットメソッド



警告!予備切削には、標準カッティングブレードを絶対に使用しないでください。カッティングブレードでは幅が十分でない溝しかできないので、その後ダイヤモンドチェーンソーで切削すると必ず、危険なキックバックが起きたり、溝にはさまったりします。

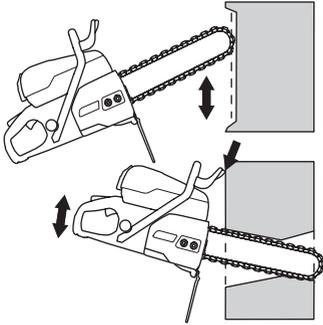
このメソッドは、直線や四角く切削する場合にお勧めします。

ハスクバーナの予備切削用特殊ブレードは、あとでダイヤモンドチェーンソーを使って切削することを想定して設計されています。これをパワーカッターに装着して、予備切削を行うと、最高の切削効率が得られます。

- まず、切削箇所に合わせて板を固定します。これが切削時のガイドになります。バー先端の下の方を使って、切削箇所全体にわたって数センチの深さの切り込みを入れます。元の場所に戻り、さらに数センチ深く切除します。溝の深さが5~10センチ(必要な精度や対象物の厚さによる)になるまで繰り返します。予備切削をすることで、後の切削においてバーを真っすぐにガイドすることができ、ブランチ切削法で最後まで切削することができます。また、切削部の資材が崩れたり、落ちたりしないようにハンドガードを使用します。

振り子技法

- この切削法では、ソーを切断部端でまっすぐに支持して、振り子のように動かします。切削部の資材が崩れたり、落ちたりしないようにハンドガードを使用します。



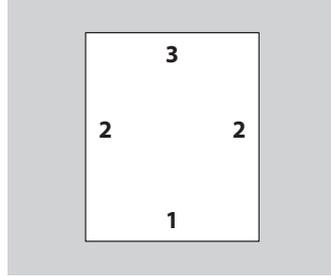
穴開け

注記!上側で行う水平方向の切断を、下側で行う水平方向の切断よりも前に行くと、作業対象物がダイヤモンドチェンとガイドバーへ落下し、挟まることがあります。

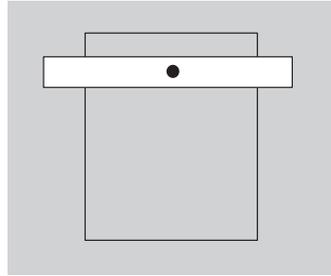
大型で重量のある作業対象物をダイヤモンドチェーンソーで切断する際には、作用力が大きすぎるため詰まりが発生し、これによりバーとチェンの両方に回復不能な損傷が生じる可能性があります。

作業対象物が壊れても、作業者にバーが当たらないように作業の計画を立てます。作業者の安全を確保するには、計画も非常に重要です。

- まず、下側を水平方向に切断します。次に、上側を水平方向に切断します。最後に、垂直方向に2箇所切断します。



- 大きい穴を開けるときは、切断する材料が作業者に向かって落ちてこないように固定することが重要です。

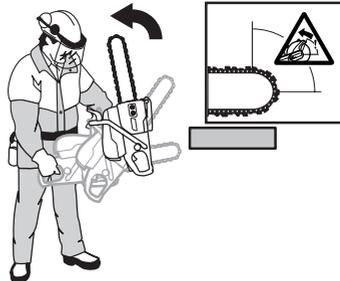


キックバック



警告!キックバックは突然発生し、非常に危険な場合があります。パワーカッターが作業者に向かって回転しながら飛ばされて、人命にかかわる傷害を招くことさえあります。本機の使用前に、キックバックの原因と、その防ぎ方を理解することが非常に大切です。

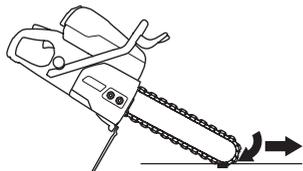
キックバックとは、チェンがキックバックゾーンで挟まったり、引っかかったりしたときに、パワーカッターが突然、上へ持ち上げられる現象です。ほとんどのキックバックは小規模で、それほど危険を伴わないものです。しかしながら、キックバックは非常に危険な挙動を発生させることがあり、作業者に向かってパワーカッターが回転しながら飛ばされて、人命にかかわるような事故が発生することもあります。



操作

反作用力

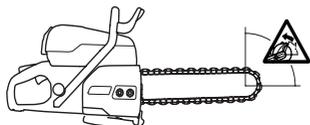
切断時は、反作用力が常に存在します。この力は、チェン回転に対して逆の方向へ製品を引っ張るように働きます。通常、この力は問題にはなりません。チェンが挟まったり、引っかかたりすると、反作用力は強力になり、パワーカッターをコントロールできなくなることがあります。



カッティング装置を回転させたまま、本機を移動しないでください。ジャイロ力により、意図した動きが阻害される場合があります。

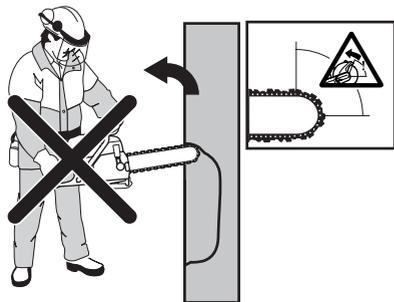
キックバックゾーン

ガイドバーのキックバックゾーンを切削に使用しないでください。チェンがキックバックゾーンで挟まったり、引っかかたりすると、反作用力により、作業者に向かってパワーカッターが回転しながら飛ばされて、人命にかかわるような事故が発生することもあります。作業対象物が動く可能性があるため、注意してください。切断面が閉じて、カッティング装置が挟まれることがあります。



クライミングキックバック

キックバックゾーンで切断を行うと、反作用力によりチェンが切断箇所から持ち上がります。キックバックゾーンを使用しないでください。クライミングキックバックを回避するために、バーの下部、四分の一を使用してください。



ピンチングキックバック

ピンチングとは、切断部が閉じて、カッティング装置を挟んでしまうことです。チェンが挟まったり、引っかかたりすると、反作用力は強力になり、パワーカッターをコントロールできなくなることがあります。

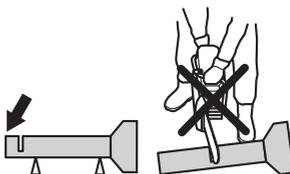


チェンがキックバックゾーンで挟まったり、引っかかたりすると、反作用力により、作業者に向かってパワーカッターが回転しながら飛ばされて、人命にかかわるような事故が発生することもあります。作業対象物が動く可能性があるため、注意してください。切断面が閉じて、カッティング装置が挟まれることがあります。

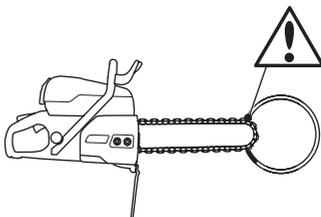
パイプ切断

パイプを切断する場合、特に注意すべきことがあります。パイプがしっかりと保持されておらず、切断時、切断部が開状態を維持している場合、バーがキックバックゾーンで挟まり、危険なキックバックが発生することがあります。先端が鐘型に広がったパイプや、溝に入っていないとしっかりと保持されていないためにたわんで、ダイヤモンドとガイドバーが挟まる可能性のあるパイプを切断するときは、特に注意してください。

切断を開始する前に、切断中動いたり回転したりしないように、パイプをしっかり固定する必要があります。



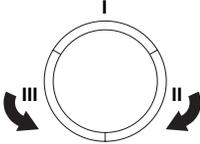
パイプがたわんで切削部が閉じると、キックバックゾーンでバーが挟まれ、激しいキックバックが起きる可能性があります。パイプがしっかりと保持されている場合は、パイプの端が下に動くことで切断部が開き、挟まれることはありません。



操作

パイプを切断する正しい順序

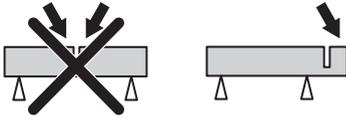
- 1 最初に、セクションIを切断します。
- 2 サイドIIに移動して、セクションIからパイプの底部まで切断します。
- 3 サイドIIIに移動して、底部のパイプの端部の残りの部分を切断します。



キックバックの避け方

キックバックの回避は簡単です。

- 加工物は常に保持して、切断の最後まで切断部が閉じないようにしてください。切断部が開いていれば、キックバックは発生しません。切断部が閉じて、カッティング装置が挟まると、必ずキックバックが発生します。



- 既存の切れ目にチェーンを挿入するときは注意してください。狭い切込みに挿入して切削することは絶対におやめください。
- 切断対象物の動きなど、想定されるいかなる可能性に対しても注意を払ってください。切断面が閉じて、カッティング装置が挟まれることがあります。

搬送と保管

- 搬送の間、損傷や事故が起こらないように、機器をしっかり固定してください。
- ダイヤモンドチェーンの搬送と保管については、「ダイヤモンドチェーン」をご参照ください。
- 燃料の輸送と保管については、「燃料の取扱」をご参照ください。
- 装置を鍵のかかる場所に保管し、子供や、承認を受けていない人が触れることのないようにしてください。

始動と停止

始動前に



警告!始動時には以下の注意点を守ってください。本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

プロテクティブ装具を着用してください。「使用者のプロテクティブ装具」の項を参照してください。

クラッチカバーが取り付けられていない状態で、本機を始動させないでください。クラッチが外れてけがをすることがあります。

燃料キャップが正しく固定されており、燃料漏れがないことを確認してください。

深刻な傷害を引き起こす危険があるので、関係者以外の人間が作業エリアに入れないようにしてください。

- 毎日のメンテナンスを実施してください。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。

始動

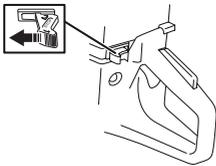


警告!エンジンが始動すると、チェンが回転します。正常に回転していることを確認してください。

常温エンジンの場合:



- 停止スイッチ (STOP) が、左の位置にあることを確認します。

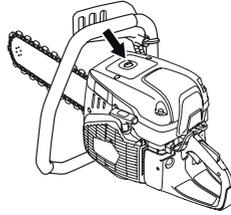


- チョークコントロールを完全に引き出すことにより、スタートスロットル位置とチョークの状態にすることができます。

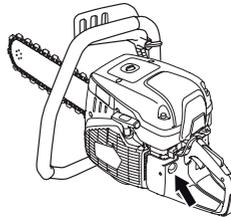


- **デコンプレッション:** シリンダー内の圧力を下げるため、バルブを押してください。これは、パワーカッターの始動を助けるためのものです。デコンプレッションバルブは、始動時に

必ず使用してください。パワーカッターを始動すると、バルブは自動的に初期位置に戻ります。



- 燃料がダイヤフラムを満たし始めるまでエアバージダイヤフラムを繰り返し押します (約 6 回)。ダイヤフラムが満杯になるまで充填する必要はありません。



- 左手でフロントハンドルを握ります。後ろハンドルの下側に右足を乗せ、チェンソーを地面に押し付けます。エンジンが始動するまで、右手で開始ハンドルを押します。スターターロープは絶対に手に巻き付けしないでください。



- エンジンが始動したら素早くチョークコントロールを押します。チョークが引き出された状態のままだと、エンジンは数秒後に停止します (エンジンが停止した場合、スターターハンドルを再び引きます。)
- スロットルトリガーを押してスタートスロットルを解除すると、本機はアイドリング状態になります。

始動と停止

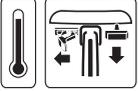
注記! 抵抗を感じるまで(スターター爪が噛み合うまで)右手でスターターロープをゆっくり引いて、抵抗を感じたら一気に強く引きます。
スターターロープをいっぱいに引き出したところから、スターターハンドルを急に放さないでください。製品に損傷を与える恐れがあります。

- スロットルトリガーを押してスタートスロットルを解除すると、本機はアイドリング状態になります。

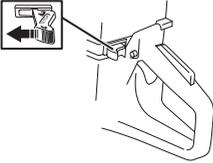
注記! 抵抗を感じるまで(スターター爪が噛み合うまで)右手でスターターロープをゆっくり引いて、抵抗を感じたら一気に強く引きます。

スターターロープをいっぱいに引き出したところから、スターターハンドルを急に放さないでください。製品に損傷を与える恐れがあります。

暖機エンジンの場合:



- 停止スイッチ (STOP) が、左の位置にあることを確認します。



- チョークコントロールをチョーク位置に引きます。チョーク位置にすると、自動スタートスロットル位置にもなります。



- デコンプレッションバルブ:** シリンダー内の圧力を下げるため、バルブを押してください。これは、パワーカッターの始動を助けるためのものです。始動時には必ずデコンプレッションバルブを使用してください。本機が始動すると、バルブは自動的に初期位置に戻ります。



- チョークコントロールを押してチョークを無効にします(スタートスロットル位置はそのままです)。



- 左手でフロントハンドルを握ります。後ろハンドルの下側に右足を乗せ、チェーンソーを地面に押し付けます。エンジンが始動するまで、右手で開始ハンドルを押します。**スターターロープは絶対に手に巻き付けしないでください。**



警告! エンジンの動作中、排気ガスには不燃性の炭化水素や一酸化炭素などの化学物質が含まれています。このような排気ガスの含有物は、呼吸器障害、ガン、先天異常その他生殖障害の原因となることが知られています。

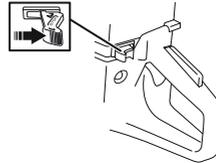
一酸化炭素は無色、無味で、排気ガスには必ず含まれています。一酸化炭素中毒の徴候は、軽度のめまいで、本人が認識できる場合も、できない場合もあります。一酸化炭素の濃度が高い場合、突然倒れ、意識を失う場合があります。一酸化炭素は無色無臭であるため、存在するかどうかを把握できません。排気臭がする場合は必ず、一酸化炭素が存在します。ガソリン駆動のパワーカッターは、屋内や、3フィート(1メートル)以上の深さの溝など、換気の悪い場所では絶対に使用しないでください。溝やその他密閉された場所で作業をする場合は、必ず換気を適切に行ってください。

停止



注意! チェンは、モーターが停止した後も1分間程度回転を続けます。(チェンの慣性回転。)チェンが完全に停止するまで、そのまま回転させてください。不注意により、大けがをすることがあります。

- 停止スイッチ (STOP) を右に移動させることで、エンジンが停止します。



メンテナンス

全般



警告! 使用者は本取扱説明書に記載されているメンテナンスとサービスだけを実施してください。本書に記載されている内容以外のメンテナンスは、必ずお近くのサービス代理店(販売店)に依頼してください。

停止スイッチをSTOP位置にして、エンジンを切ってください。

プロテクティブ装具を着用してください。「使用者のプロテクティブ装具」の項を参照してください。

本機のメンテナンスを適切に行わなかったり、専門技術者が整備・修理を行わなかったりすると機械の寿命を縮め、事故発生危険性が増します。詳しくは、お近くのサービスショップにお問い合わせください。

- ハスクバーナの販売店で定期的に本機を点検し、重要な調整や修理を行ってください。

メンテナンススケジュール

メンテナンススケジュールは、メンテナンスが必要な箇所と、それを実施すべき頻度を示しています。実施間隔は、本機が毎日使用されることを前提に算出されているため、使用頻度によって異なります。

毎日行うメンテナンス	毎週行うメンテナンス	毎月行うメンテナンス
清掃	清掃	清掃
外部の清掃		スパークプラグ
冷却用吸気口		燃料タンク
機能検査	機能検査	機能検査
一般点検	防振装置*	燃料システム
スロットルロック*	マフラー*	エアフィルター
停止スイッチ*	駆動ベルト	ドライブギア、クラッチ
ハンドガード、リヤ右手ガード、クラッチカバーおよびスプレーガード*	キャブレター	
ガイドーとダイヤモンドチェン**	スターターハウジング	
給水システム		
燃料漏れがないかチェックします。		

*「本機の安全装置」の項を参照してください。

**「ダイヤモンドチェン」、「取り付けと調整」、「メンテナンス」を参照してください。

メンテナンス

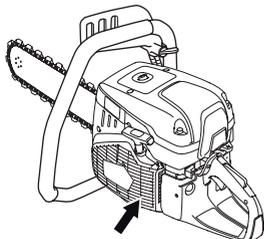
清掃

外部の清掃

- 作業の終了時にはいつも本機をきれいな水で洗浄してください。

冷却用吸気口

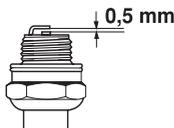
- 必要に応じて冷却用吸気口を清掃してください。



注記! 吸気口が汚れたり詰まっていると、本機が過熱状態になり、ピストンやシリンダーに損傷を与えることとなります。

スパークプラグ

- エンジンのパワーが出ない、なかなか始動しない、アイドリングが安定しないなどの場合は、まずスパークプラグを点検してください。
- 感電の危険を回避するために、スパークプラグキャップやイグニッションリードが損傷していないことを確認してください。
- スパークプラグが汚れていたら、きれいにしてから電極ギャップが 0.5 mm あるかどうか確認します。必要なら交換します。



注記! 必ず指定のタイプのスパークプラグを使用してください! 不適切なスパークプラグを使用すると、ピストンやシリンダーが破損する原因となります。

上記の要因によりスパークプラグ電極にカーボンが付着し、運転中の不具合や始動困難などの原因となります。

- 誤った燃料調合 (オイル過多または不適切な種類のオイルの使用)
- エアフィルターの汚れ

機能検査

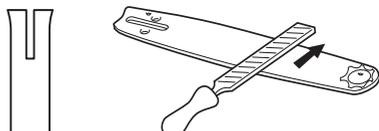
一般点検

- ナットおよびネジが確実に締められているかどうかを確認します。

ガイドバー

下記の項目を定期的に点検してください。

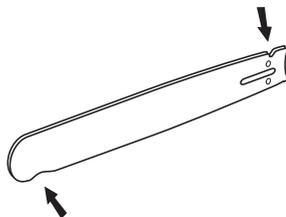
- ガイドバーの縁にバリがないか。必要に応じてヤスリをかけます。



- ガイドバーのレール溝の摩耗が激しくないか。必要に応じてガイドバーを交換します。



- ガイドバーの先端が欠けていないか、摩耗が激しくないか。ガイドバーの先端下側にへこみができている場合、ソーチェンのたるみが原因です。



- ガイドバーの寿命を延ばすには、ダイヤモンドチェンの交換時にバーを上下反転させてください。



メンテナンス

キャブレター

キャブレターには固定ニードルが取り付けられており、燃料と空気の適切な混合気が常に本機に供給されるようになっていきます。エンジンのパワーが足りない時、加速が悪いときは、以下を行います。

- エアフィルターを点検し、必要に応じて交換します。効果が悪いときは、弊社指定のサービスショップに問い合わせてください。

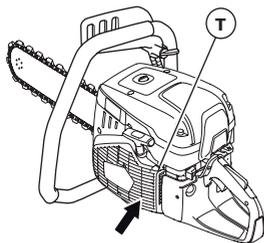
アイドリング速度の調整



注意!アイドリング設定が調節できず、ダイヤモンドチェンが動かない場合は、販売店またはサービスショップにご連絡ください。調整または修理が完了するまで、本機の使用はお控えください。

エンジンを始動し、アイドリング設定をチェックします。キャブレターが正しく設定されていると、ダイヤモンドチェンはアイドリング時に静止状態になります。

- アイドリング速度の調整はTネジで行います。チェンが回転し始めるまで、アイドリング速度のネジを時計回りにまわします。次に、チェンが回転を停止するまで、ネジを反時計回りに回します。



推奨アイドリング速度: 2700 rpm

スターターハウジング

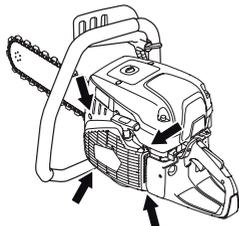


警告!リコイルスプリングは張力を持った状態でスターターハウジングに組み込まれているため、不注意に取り扱くとスプリングが飛び出して怪我をすることがあります。

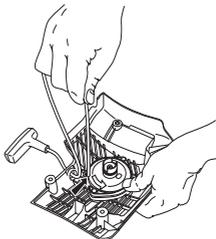
リコイルスプリングやスターターロープを交換するときは、常に注意を払って行ってください。必ず防護ゴーグルを着用してください。

破損したり消耗したスターターロープの交換

- スターターをクランクケースに固定しているネジを緩め、スターターを外します。



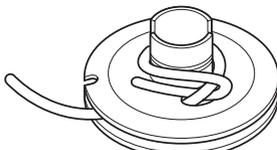
- コードを約 30 cm 引き、スタータープリーリーの表面のカットアウトまで持ち上げます。コードに損傷がない場合: プリーリーをゆっくりと逆に回転させ、スプリングの張りを緩めます。



- 古いスターターロープの残りの部分を取り除き、リターンスプリングが動作することを確認します。新しいスターターロープをスターターハウジングとローププリーリーの穴を通して挿入します。

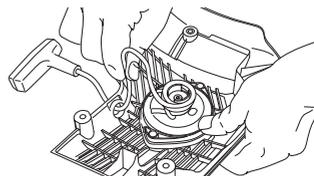


- スターターロープを、図のとおり、ローププリーリーの周りに固定します。締め具をしっかりと締め込み、残った端を可能な限り短くします。スターターロープの終わりをスターターハンドルに固定します。



リコイルスプリングのテンション調整

- コードをプリーリーの表面のカットアウトを通して導き、スタータープリーリーの中心の周りにコードを 3 回時計回りに巻きつけます。

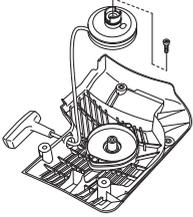


- 次にスターターハンドルを引き、それによってスプリングにテンションを与えます。もう一度、同じ手順を繰り返しますが、今度は 4 回巻きます。
- スプリングにテンションを掛けた後、スターターハンドルが正しくホームポジションにあることを確認します。
- スターターラインを完全に引き、スプリングが最終位置にないことを確認します。親指でスタータープリーリーを緩め、プリーリーが少なくとも反回転することを確認します。

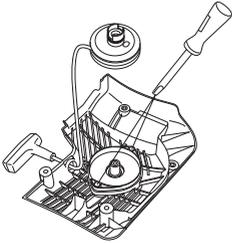
メンテナンス

破損したリコイルスプリングの交換

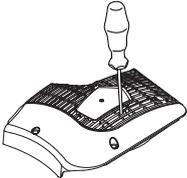
- プーリーの中心のボルトを外し、プーリーを取り外します。



- スターターハウジング内のリターンズプリングにはテンションが掛かっていますので、ご注意ください。
- スプリングカセットを固定しているボルトを緩めます。



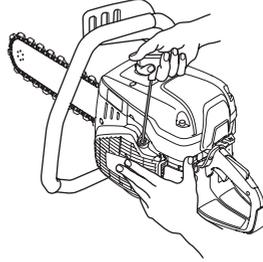
- ドライバーを使用して、スターターを回し、フックを緩めることで、リコイルスプリングを外します。フックは、スターター上のリターンズプリングアセンブリーを保持しています。



- リコイルスプリングにオイルを薄く塗布します。プーリーを取り付け、リコイルスプリングにテンションを掛けます。

スターターの取り付け

- スターターを取り付けるには、まずスターターロープを引き出し、スターターをクランクケースにあてがいます。次にプーリーに爪がかかるよう、スターターロープをゆっくりと戻します。



- ネジを締め込みます。

燃料システム

全般

- 燃料キャップとシール部に損傷がないことを確認します。
- 燃料ホースを点検します。損傷があるときは交換します。

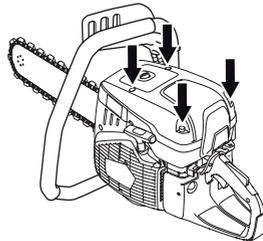
燃料フィルター

- 燃料フィルターは、燃料タンクの内部にあります。
- 燃料タンクは、給油時に不純物が入ることがないように、保護する必要があります。これによって、タンク内の燃料フィルターが詰まることによって、動作上の障害が起きるリスクを減少させることができます。
- フィルターが目詰まりした場合は、清掃することはできません。新しいものと交換してください。燃料フィルターは、少なくとも年に1度交換してください。

エアフィルター

エンジンの力が落ちている場合、エアフィルターのみを点検する必要があります。

- ネジを緩めます。エアフィルターカバーを取り外します。



- エアフィルターを点検し、必要に応じて交換します。

メンテナンス

エアフィルターを清掃します。

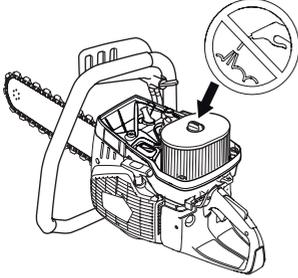


注意! フィルター交換時に有害な塵が飛散する場合があります。認可された呼吸器保護具を着用してください。フィルタを適切に処分してください。

注記!

エアフィルターは、圧縮空気で掃除しないでください。フィルターを傷つけることがあります。

- ネジを外します。



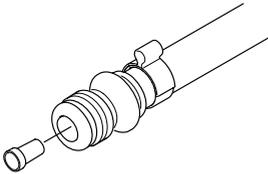
- エアフィルターを交換します。

ドライブギア、クラッチ

- クラッチセンター、ドライブギア、およびクラッチスプリングに摩耗がないか点検します。

給水システム

ガードバーのノズルと給水接続のフィルターに詰まりがないかどうかをチェックし、必要に応じて清掃します。



廃棄

本製品は、地域で定められた要件に従って適切なリサイクル業者に引き渡す必要があります。

以上を遵守することで、本製品は正しく処理され、本製品を不適切に廃棄した場合に環境や人に与えられる悪影響を防止することができます。

本製品のリサイクルについての詳細は、あなたの所在する地区の地方自治体、廃棄物処理サービス、本製品を購入した代理店に連絡してください。



トラブルシューティング

トラブルシューティング



警告! サービスやトラブルシューティングを行う際に電源を入れる必要がない場合には、エンジンを切って、停止スイッチを STOP の位置に入れてください。

問題	考えられる原因	考えられる解決策
本機が始動しない	始動の手順が間違っている	詳細は、「始動と停止」を参照してください。
	停止スイッチが停止 (STOP) の位置にある	停止スイッチ (STOP) が、左の位置にあることを確認します。
	燃料タンクに燃料がない	燃料を補給します。
	スパークプラグの不良	スパークプラグを交換します。
	クラッチの不良	サービス代理店に連絡してください。
アイドリング状態でもチェンが回転する	アイドリング速度が速すぎる	アイドリング速度を調整します。
	クラッチの不良	サービス代理店に連絡してください。
スロットルを押してもチェンが回転しない	チェンの張りが強すぎる。ダイヤモンドチェンは常にガイドバーから手で引っ張ることができる状態にしてください。ダイヤモンドチェンリンクがガイドバーの下に垂れ下がっている状態が正常です。	チェンの張りの調整については、「取り付けと調整」を参照してください。
	クラッチの不良	サービス代理店に連絡してください。
	ダイヤモンドチェンが正しく取り付けられていない	ダイヤモンドチェンが正しく取り付けられているか確認します。
スロットルを押してもパワーが出ない	エアフィルターが詰まっている	エアフィルターを点検し、必要に応じて交換します。
	燃料フィルターが詰まっている	燃料フィルターを交換します。
	燃料タンクのタンク通気孔が詰まっている	サービス代理店に連絡してください。
振動が大きすぎる。	ダイヤモンドチェンが正しく取り付けられていない。	ダイヤモンドチェンが正しく取り付けられており、損傷がないことを確認します。「ダイヤモンドチェンおよび「組立と設定」の項を参照してください。
	ダイヤモンドチェンの不具合	ダイヤモンドチェンを交換し、損傷がないか確認します。
	防振装置の不良	サービス代理店に連絡してください。
本機の温度が異常に高くなる	空気取り込み口または冷却フランジがふさがっている	本機の空気取り込み口／冷却フランジを掃除します。
	クラッチ滑り／不良	常時フルスロットルで切削します。 クラッチを点検します／サービス代理店に問い合わせます。
切断速度が低すぎる	ダイヤモンドの目立てが必要か、送り圧力が低すぎる	砂岩やレンガなどの軟質の研磨剤を短時間切断します。
チェンストレッチの早期摩耗。	水圧が不十分。水の供給が不十分のため、ダイヤモンドチェンが過剰に摩耗し、切断力の低下やダイヤモンドチェンの破損が発生するおそれがあります。	水圧を上げます。
ダイヤモンドチェンがはじかれる、または跳ぶ	チェンの張りが不適切	チェンの張りの調整については、「取り付けと調整」を参照してください。
	ソーをダイヤモンドチェンセグメントの幅よりも狭い溝に挿入している	詳細は、「操作」を参照してください。
	切削時に送り圧力が不十分	ソーが跳ねたり、ガタガタ音が出たりしないようにします。

主要諸元

主要諸元

	K 970 III Chain
排気量、cm ³ /立方インチ	93.6/5.7
シリンダー内径、mm/インチ	56/2.2
ストローク、mm/インチ	38/1.5
アイドリング回転数、rpm	2700
フルスロットルー負荷なし、rpm	9300 (+/- 150)
出力、hp/kW @ rpm	6.5/4.8 @ 9000
スパークプラグ	NGK BPMR 7A
電極ギャップ、mm/インチ	0.5/0.02
燃料タンク容量、リットル/米国液量オンス	1/33.8
推奨水圧、バー/PSI	1.5-10/22-150
推奨流量、リットル/分/ガロン(米国)/分	8/2
質量(燃料とチェンを除く)、kg/lb	9.6/21.2

騒音排出(注記 1 を参照)	
実測音響レベル dB (A)	114
保証音響レベル L _{WA} dB (A)	115
騒音レベル(注記 2 を参照)	
使用者聴覚での等価騒音レベル、dB (A)	104
等価振動レベル、 _{heq} (注記 3 を参照)	
フロントハンドル、m/s ²	3.6
リヤハンドル、m/s ²	4.7

注記 1: 環境における騒音放射は、EC指令2000/14/ECに従って、音響パワー(L_{WA})として測定しました。保証音響と計測音響の違いは、保証音響に計測結果のばらつきと、同一モデルの異なる機器の差異が含まれているためです。これは指令2000/14/ECに則っています。

注記 2: 等価騒音レベルは EN ISO 19432 に則し、さまざまな作動状態における騒音レベルの時間加重エネルギーとして計算しています。報告データによれば、製品の等価騒音レベルの一般的な統計上のばらつき(標準偏差)は、1 dB (A) となります。

注記 3: 等価振動レベルは EN ISO 19432 に則し、さまざまな作動状態における振動レベルの時間加重エネルギーとして計算しています。EN ISO 22867 に準じた試験条件を適用報告データによれば、等価振動レベルの一般的な統計上のばらつき(標準偏差)は 1m/s² です。

推奨されるガイドバーとソーチェンの組み合わせ

ガイドバーとダイヤモンドチェン	ダイヤモンドチェンセグメント数:	ダイヤモンドチェンセグメントの幅、mm/インチ:	ダイヤモンドチェンのピッチ、mm/インチ:	最大切断深度、mm/インチ	チェン最大速度、エンジン出力回転数、m/s/フィート/s
12 インチ (300 mm)	25	0.22/5.7	7/16/11.278	14/350	95/29
14 インチ (350 mm)	32	0.22/5.7	3/8/9.525	16/400	85/26
16 インチ (400 mm)	29	0.22/5.7	7/16/11.278	18/450	95/29

主要諸元

EC 適合性宣言

(ヨーロッパにのみ適用)

{83}Husqvarna AB{84}、SE-561 82 Huskvarna、スウェーデン、電話：+46-36-146500)は、2018年以降(年度は型式銘板のシリアル番号の前に記載)のシリアル番号のパワーカッター**Husqvarna K970 III Chain**が、以下の議会指令の要件を満たしていることを宣言します。

- 2006年5月17日付「機械類に関する」**2006/42/EC**
- 2000年5月8日付「環境への騒音排出に関する」{85}2000/14/EC{86}

騒音排出に関する詳細は「主要諸元」の章を参照してください。

次の標準規格にも適合しています：**EN ISO 12100:2010, EN ISO 19432**

RISE SMP Svensk Maskinprovning 社 (Box 7035, SE-750 07 Uppsala, Sweden) はハスクバーナ社の代理として、機械指令 (2006/42/EC) に従って自主試験を実施しました。証明書の番号：SEC/10/2286

試験機関：0404、RISE SMP Svensk Maskinprovning 社 (Box 7035, SE-750 07 Uppsala, Sweden) が、2000年5月8日付の「環境への騒音排出に関する」評議会指令 2000/14/EC の付録 V に適合することを認定しました。証明書の番号：01/169/036

Partille, 2018年1月2日



Joakim Ed

Global R & D Director

Construction Equipment Husqvarna AB

(ハスクバーナ AB 正式代表兼技術文書担当)

JA - 取扱説明書(オリジナル)

1159252-79



2018-04-19